

# 保護者の皆様へ 附属特別支援学校長だより

NO. 6 保護者向け  
令和元年11月5日  
発行：附属特別支援学校  
校長 須田 正信

## 10月5日「令和元年文化祭」開催 小・中・高とも元気に演技しました。



■高等部の演技；「ピーチボーイズとなかまたち」

十月五日(土)に、文化的行事として今年から新たに「文化祭」として子どもたちの表現活動を企画しました。  
小・中・高等部とも体育館で臨場感ある演技や歌などの表現活動を披露してくれました。卒業生の皆さんからも青年学級などで取り組んでいるダンスなどを披露していただきました。午後からは模擬店やゲームコーナー、生徒が制作した作品販売など保護者、児童生徒、卒業生を交えてのイベント形式です。学校評議委員の皆さんや大学の事務局長、附属学校部長、教育後援会長も参観されました。とても好評でした。



■小学部の発表；「17ひきのねこ  
～ひとりじゃないからだいじょうぶ～」



■高等部生徒による「吉本芸人」顔負けの演技と扮装を披露してくれました。



■小学部児童による演技は「みんなと力を合わせて」様々な演技を披露してくれました。



■中学部の発表；「ミュージック☆ステーション  
～令和元年にスーパーライブ～」



■中学部生徒による演技は「学ランのツッパリ」や「ダンス」あり「歌あり」で様々なライブを披露してくれました。



\*本校の文化祭の様子については「大学のHP」のトピックスに掲載されています。ご覧ください。



# 小・中学部の交流及び共同学習の実践



■小学部では、北田辺保育園との交流活動を行いました。大玉リレーやゲームなどを通してお互いに協力し関わることで関係性を深めました。

本校では、障がい理解を深める意味でも他校との「交流および共同学習」の実践を行っています。中学部では十月二十四日(木)に附属平野中学校との交流があり、「車いすリレー・ポッチャ・ゴールボール」を体験しました。ポッチャはパラリンピックの新種目となっており、特別支援学校でも盛んに取り組まれています。小学部は、二十九日(火)に北田辺保育園との交流活動があり、大玉リレーなどを一緒に取り組みました。



■生徒同士でパラリンピック種目になる「ポッチャ」のルールや競技の仕方を学びました。



■車いすバスケット等の競技用に使う車いすに乗って体験をしました。



■「ゴールボール」アイマスクを付けてゴールを守りました。



中学部では十月三十日に第2回目の「地域連携型授業」を行いました。この企画には、多くの事業所のご協力をいただき、生徒や保護者の皆さんも加わった取り組みでした。生活介護事業所が二か所、就労移行事業所が三か所、就労継続支援A型が二か所、就労継続A・B型が二か所、就労継続支援B型が四か所の合計十一事業所が参加していただきました。午前からは体育館でそれぞれのブースを設け、生徒には様々な体験等を提供していただきました。体験終了後は、保護者等に向けてシンポジウムを開催し、大阪労働局職業安定部職業対策課雇用担当官の眞銅申一さんよりお話をいただきました。



午後からは大阪府教育庁支援教育課首席の内藤孝彦さまも参加され、生徒たちの活動の様子を見ていただき、シンポジウムにも参加されました。



体験授業終了後のシンポジウム；眞銅さんから「障害者雇用の現状・雇用対策について」のお話を聞きました

中学部「第二回地域連携型授業」はたらく  
三十日(水曜日)